



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わかやま

# NEWS

第3号

発行日: 2004.9

## ～患者様の権利～

- 1、患者様は、平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
- 2、患者様は、医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
- 3、患者様は、検査・治療等に際してそれを受けることを自己の判断のもと承諾あるいは拒否する権利があります。
- 4、患者様は、医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
- 5、患者様は、自己の病状についての情報を得る権利があります。
- 6、患者様は、自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。

## — Information —

済生会和歌山病院に赴任して3ヶ月になります。まだまだ分からないことが多く、戸惑う時もありますが、まわりのスタッフに助けられてがんばっています。この病院に来て、周りをよく見回すといたる所に「額」に入れられた済生会和歌山病院の「理念」と「基本方針」が掲げられていることが分かりました。私の部屋の壁にも同様に「理念」と「基本方針」が掲げられています。

すなわち

「理念」

私達は、地域社会に親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持てる病院を目指します。

「基本方針」

- 1、救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
- 2、患者様の立場に立って、安全で質の高い医療を効果的に提供する。
- 3、透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を蜜にし相互信頼を確保する。

私は、この「理念」と「基本方針」は大変素晴らしく、みんなの理想であると考えました。「理念」の中の「地域社会に親しまれ、信頼される」ということは、患者さんが患者さんと呼んでくれる病院であり、「働きがいと誇りを持てる病院」とは職員全員の理想とするところでありましょう。また、「基本方針」の中ではとくに2が重要で、私達は「患者さんの立場にたって、安全で質の高い医療を効果的に提供する」義務があります。昨今医療制度の改革が次々に行なわれ、医療現場においては、経営の危機など重大な混乱が起こり、生き残りを賭けてその対応策を模索しているのが現状で、昨年10月に移転した当院も然りであります。当然これに対して、病院自身がしっかりとした長期ビジョンを持つ必要があります。

しかし、安全で質の高い医療を提供するのはコンピュータでも建物でも、高価な医療機器でもありません。それは、「人」そのものです。患者さんを理解できる人、患者さんから信頼される人がそれを成し遂げることができるのです。それと同時に「働きがいと誇りを持てる病院」が自然に形作られるのではないかと考えています。「済生会和歌山病院に入院してよかった」また「済生会和歌山病院で働けてよかった」といえる病院を目指してがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

副院長 松崎 交作





## 外科のご紹介

外科部長 重里 政信  
医師 本田 賢太郎

### 次の時代は？

手術の低侵襲化をめざして約2年間の試行錯誤の後に、今から13年前の1991年2月、「胸に大きな傷がつくのは絶対にいや。」と言っていた20歳の難治性気胸の女性患者様に対し、当時の関西では初の胸腔鏡下肺切除術を行いました。その手術は成功し学会でも高い評価を得ることができ、その後も手術を重ねた結果、21世紀の手術の主役は鏡視下手術になると確信しました。実際に現在の当院外科で行っている年間約200例の腹部、胸部外科手術の約半数が胸腔鏡や腹腔鏡を用いた手術になりました。

確かに鏡視下手術は早く、患者様に喜ばれ、安全な（当院では鏡視下手術開始後13年間に手術死亡は1例もありません）手術です。しかし年に1～2回、何か変な感覚を覚えることがあります。カメラを扱うのが助手の仕事なので、術者が見たいところに焦点があわなかったり、手指による触感がないことが原因だと思います。変な感覚がそのまま医療事故につながる訳ではないし、めったにないことなので何とも云えませんが、このまま鏡視下手術や乳房温存乳癌手術などの縮小手術を続けることにより、思わぬ罨が待ち受けていそうな気がします。

次の時代の手術はどうなっていくのか、曇りの無い目で見ていきたいと思います。



4月から赴任した  
本田賢太郎医師

## 眼科のご紹介

眼科医長 荒井 真由

眼科は移転後に新設され、常勤医1名、非常勤医2名（医大より）によって、最新の検査器機、手術器機を取りそろえ、眼科一般診療、糖尿病網膜症をはじめとするレーザー治療を主にしております。この6月からは、短期入院で、毎週火曜日を手術日として、白内障手術を始めております。

白内障は眼の中のレンズ（水晶体）が濁る病気で、年齢とともにほとんどすべての人に出てきます。眼がかすむ、見えにくいなどの症状があります。

白内障の点眼薬は進行を抑える薬であって、濁りをとる薬ではありません。一度濁った水晶体は元には戻らないので、根本的には手術で濁りを取り除くしかありません。

ただ、白内障があるからといって、すぐに手術をしなければならないというわけではありません。いつ手術を受けるかは、「その人が不便だと感じたときが手術を受ける時期」です。最近では、安全に、短時間で手術ができるようになってきています。白内障がどの程度あるかは簡単に検査できますので、最近、見えにくい、眼鏡が合わなくなってきたなど症状のある方は、まずは検査を受けてみて下さい。詳しくは、眼科の外来まで、お気軽にお問い合わせ下さい。



## 呼吸器科のご紹介

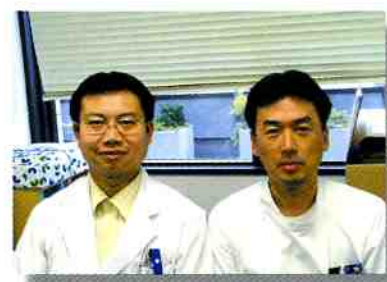
呼吸器科医長 柳本 立太  
医師 赤松 啓一郎

当院呼吸器科では、レントゲン、CTなどの画像診断や気管支鏡を駆使し疾患の診断に努めています。日本呼吸器学会専門医、日本気管支内視鏡学会認定医が常駐し皆様方の普段の主治医である医院、病院の先生方と連携しながら、診断と治療にあたらせて頂きます。

肺感染症、COPD（慢性閉塞性肺疾患）・喘息、間質性肺炎、肺癌などが主な疾患です。

また呼吸不全に対して在宅酸素療法の導入なども行っています。

最近、喫煙問題も社会的に話題になっており当科でもニコチン補助もちいた禁煙指導も行っていますので気軽にご相談ください。



赤松医師

柳本医師



## 泌尿器科のご紹介

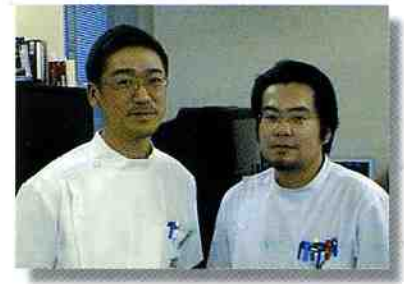
泌尿器科医師

柑本 康夫  
藤井 令央奈

泌尿器科とは、尿路（腎臓、尿管、膀胱、尿道）および男性生殖器（精巣、前立腺、陰茎、陰囊）の病気をあつかう診療科です。済生会和歌山病院泌尿器科では、あらゆる泌尿器科疾患に対応可能な検査体制を整えて、日本泌尿器科学会専門医が診察にあたっています。毎週水曜日は藤井医師、金曜日は柑本医師が担当しています。いずれも非常勤医師であるため、手術や入院治療は行っていませんが、必要な患者さまには和歌山県立医科大学附属病院で引き続き私たちが診察に当たらせていただきます。

さて、最近、日本でも増えている前立腺がんについてご存知でしょうか？この病気は「おしっこが出にくい」とか「おしっこが近い」などの症状が少ないために、以前は発見が遅れることも少なくありませんでした。しかし、血液検査で測定できるPSA（前立腺特異抗原）の登場により早期発見が可能となり、手術や放射線治療で根治を望める患者さんが多くなっています。一方、中年以降の女性で人知れず尿失禁に悩んでいたり、高齢者では「おむつ」に甘んじている方も少なくありません。あきらめる前に一度、私たち「おしっこ」の専門医にご相談ください。

この他にも、尿に血が混じっている場合には、尿路結石や尿路悪性腫瘍が原因のこともあります。検査が怖くて受診を躊躇される方も少なくないと思いますが、私たちは出来るだけ侵襲の少ない（痛くない）検査を、患者さまに安心して受けていただけるように心掛けています。また、治療についても患者さまと相談しながら、いくつかの選択肢の中からその方に最もあったものを提供していきたいと考えています。



柑本医師 藤井医師

## 薬局のご紹介

薬局長 丸山 秀夫

薬局は、1階正面に位置し、調剤室、注射調剤室、無菌室、医薬品情報室等を設けています。新病院移転と同時に、IT化（電子カルテ導入）がスタートし、全ての医療情報・医療資源はオンライン上で共有されており、院内LANで院内に設置された全てのコンピュータから、患者様情報やその他付随する全てのデータが容易に参照できます。薬局全ての機器（全自動錠剤分包機、全自動薬袋発行機、注射薬袋発行機、注射薬個人ラベル、散薬監査システム、水薬監査システム、薬剤情報提供等）がオーダリングシステムとの連動により稼動することで正確で時間のロスのない調剤が24時間体制で可能となりました。24時間救急受け入れに伴い、全ての調剤及び無菌室での高カロリー輸液の調製は毎日行っています。また、24時間受入のため、土曜・日曜の退院時服薬指導の依頼も多く入院患者様への服薬指導充実に向け取り組んでいます。

一方、医薬分業もスタートし院外処方箋の発行となった現在、処方に不備が生じないように処方箋監査の徹底と調剤薬局との相互の連絡を密に保っています。調剤薬局からの疑義紹介は、薬局が窓口となり各医師と連絡を取っています。また、院外での副作用の把握にも努め調剤薬局からの副作用の収集を行い薬剤が有効に安全に使用されるよう努めています。更に、入院患者様への服薬指導を行い退院時には、かかり付け薬局への情報提供として患者様に「退院時服薬指導書」をお渡し退院後のフォローアップに努めさせて頂いています。



## 地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代  
主任 半田 ツユ子

地域医療連携室は、地域の急性期における中核的病院として、地域と密着した「かかりつけ医」の先生方と密接な連携を構築し、地域の方々の健康と安心を担う病院としての役割を果たしてゆく所存でございます。まず、ご紹介元への迅速な予約受付と返書の遅れや未返書が無いよう努めます。ご紹介の際、予約など、詳細な申し込み用紙を診察中に記入できない時は、電話でも可能ですので、まず一報ください。スタッフ一同、心よりご利用をお待ちいたしております。 TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成16年4月…131人 5月…124人 6月…168人 7月…141人

のご利用を頂きありがとうございました。



# 濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成16年9月1日現在)

	内科・呼吸器科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科			脳神経外科	耳鼻咽喉科	胃センター	眼科	皮膚科	泌尿器科
	2診	3診	4診			1診	2診	1診	2診	リハビリ						
月	午前 井関	赤松	崎山	木村	—	重里	本田	松崎	山崎	南	松本	林	成川 梓谷	荒井	山本	—
火	午前 柳本	文野		山本	—	駒井		南	金川	山崎	仲	林	成川 梓谷 <small>外来診察</small>	荒井	—	—
水	午前 井関	川口		阪井	野村	重里	本田	山崎	南	西田	松本	医大医師	成川	荒井	—	藤井
木	午前 文野	柳本	井関	木村	—	駒井		松崎	南	金川	仲	林	梓谷	荒井	酒井	—
金	午前 川口	赤松	崎山	山本	—	本田		山崎	金川	松崎	河邊	林	成川 梓谷	宮崎	—	柑本
土	午前	崎山 柳本		木村 阪井	—	特殊外来		当番医			当番医	2,4週 林 1,3週 医大医師	成川 梓谷	荒井 (第2・4)	—	—

## 肝臓病教室

場 所：濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
 時 間：午後2時～  
 参 加 費：無料

## C型肝炎教室

月日	担 当
9月18日(土)	内科医師 看護師
10月23日(土)	臨床検査技師 薬局

## 肝硬変教室

月日	担 当
11月20日(土)	内科医師
H17 1月15日(土)	臨床検査技師 看護師
2月19日(土)	薬局 リハビリテーション科
3月19日(土)	栄養管理課

※都合により、日程の変更の場合があります。

## 糖尿病教室

日 程：偶数月の第3木曜日・金曜日(2日間)  
 場 所：濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
 時 間：午後2時～午後3時30分

## 糖尿病ハイキングのご案内

日 時：11月21日(日)  
 濟生会和歌山病院 9時集合  
 内 容：ウォーキング中心  
 ※主治医の許可があれば参加できます。  
 (詳細は追ってお知らせします。)



## 診療案内

診 察 日：月～土曜日  
 受付時間：午前8時45分～午前11時(但し、予約患者様はこの限りにあらず)  
 休 診 日：日・祝祭日(年末年始)  
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187